

2021年10月16日  
青い鳥さぽーと企画様 研修会資料

# コロナウイルス感染症対策

徳島健康生活協同組合 徳島健生病院  
感染管理認定看護師 野上由起子

# 本日の内容

- 標準予防策について(経路別予防策)
- 新型コロナウイルス(COVID-19)について

● 病態

● 診断

● 症状

● 経過

● 診断

● 経路

● 感染経路

● 個人防護具

● 濃厚接触者とは

● 治療、ワクチン

# 事業所における感染対策

- 職員一人ひとりが感染対策の重要性について理解することが必要
- ウイルスを ①持ち込まない②持ち出さない ③拡げない 3大原則
- 環境整備：消毒液の種類（濃度、回数）、机・椅子の配置など
- 換気：空気の流れ



# 消毒薬について

図 21 新型コロナウイルス消毒・除菌方法一覧<sup>46</sup>

方法	モノ	手指	現在の市販品の薬機法上の整理
水及び石鹼による洗浄	○	○	—
熱水	○	×	—
アルコール消毒液	○	○	医薬品・医薬部外品（モノへの適用は「雑品」）
次亜塩素酸ナトリウム水溶液 （塩素系漂白剤）	○	×	「雑品」（一部、医薬品）
手指用以外の界面活性剤 （洗剤）	○	— （未評価）	「雑品」（一部、医薬品・医薬部外品）

※薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）上の承認を有する製品が一部あり、そのような製品は手指消毒も可能。

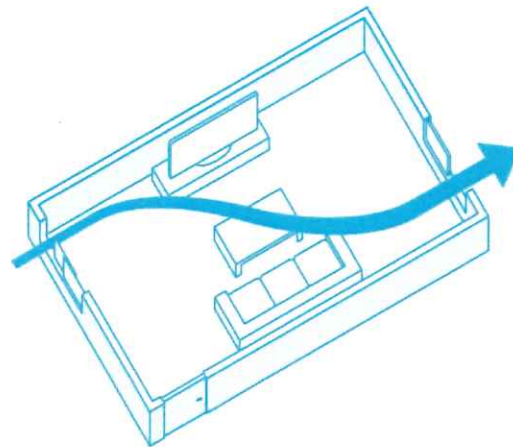
# 施設の消毒

場所	方法・(濃度)
環境表面	物に付着したウイルスはしばらく生存します。ドアの取っ手やノブ、ベッド柵など共有部分は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きする * 家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム) 濃度:0.05%(製品濃度6%の場合、水3Lに液25ml)
トイレの消毒 (下痢時)	新型コロナウイルス感染症の疑いのある患者や新型コロナウイルス感染症の患者、濃厚接触者が使用した使用後のトイレ、急性の下痢症状などでトイレが汚れた場合には、 * 家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム) 濃度:0.1%(製品濃度6%の場合、水3Lに液50ml)
トイレ・洗面所	通常の家計用洗剤で清掃 タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でOK
汚れたリネン、衣類の洗濯	体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かす

# 換気



- 新型コロナウイルス等の微粒子を室外に排出するためには、こまめに換気を行い、部屋の空気を入れ換えることが必要
- 定期的な換気を行うために、窓を使った換気を行う場合、風の流れができるよう、2方向の窓を、1時間に2回以上、数分間程度、全開



# 空間噴霧について

- 「消毒剤や、その他ウイルスの量を減少させる物質について、人の眼や皮膚に付着したり、吸い込むおそれのある場所での空間噴霧をおすすめしていません。」
- 「消毒剤の(空間)噴霧は、空気や環境表面の除染方法としては不十分であり、日常的な患者ケア区域における一般的な感染管理として推奨しない」

# 食事介助時の注意点

- 食事場所：感染流行期は自室で個別にとることを検討する（食堂利用を避ける）
- 食堂を利用する場合は、①テーブルの消毒、②利用者の向き（対面にならない）、③換気、④密集しない、ことに注意
- 食事前の利用者と職員の手指衛生の徹底
- 食事介助者はマスクに加え、状況に応じて手袋と目の保護を追加する



# 職員の休憩・食事時がハイリスク！

- 換気ができる場所を休憩所に
- 密接しない
- 密集しない
- 食事時などに対面にならない
- 共有する物品などは定期的に消毒する
- 時間差で休憩する
- 夜勤の仮眠場所などの感染対策も確認

# 入浴介助時の注意点

- 新型コロナウイルス感染症流行時の入浴介助者はマスクに加え、状況に応じて目の保護を追加する
- 有症状者の介助入浴は避け、清拭や部分浴を原則とする
- 入浴施設は基本的に清掃で十分。なるべく熱いお湯をかけるとより良い



# リネン・衣類の取扱い

1. 次の①または②を原則とする。
    - ① 熱水洗濯機（80°C，10分間）で洗濯する。
    - ② 0.05%～0.1%の次亜塩素酸ナトリウム溶液に30分間浸漬し，臭いがなくなる程度まで水ですすぎ，その後洗濯する。
  2. 洗濯のために病室から持ち出す際は，ビニール袋で二重に密閉して外側をアルコールなどで消毒して出す。
- 
3. 代替案
    - ③ 水溶性バッグに入れさらにそれをビニール袋に入れて二重に密閉した状態で外側を消毒。
    - ④ 寝具類に70%以上のアルコールを近距離でまんべんなく吹きつけビニール袋で二重に密閉して外側を消毒。
    - ⑤ 寝具類をビニール袋で二重に密閉し，感染の危険のある旨を表示のうえ外側を消毒。ただし業者と十分に話し合い。

# 施設内感染が広がる**3要素**

1. 症状があるのに勤務を続けた
2. 症状があって勤務は休んだが、同じ施設の友人職員と遊んだ
3. 濃厚接触者ではない患者の発熱を見過ごした

1～3のようなことがないように  
一人ひとりが意識を持った行動をとりましょう